

ほつ スピタル・かいつか ⑱人工関節センターを開設

問合せ先
貝塚病院
☎422-5865

高齢者人口の増加とともに「関節が痛い、変形している、うまく歩けない」などの運動器の病気に悩むかたが増えてきています。

その中でも股関節や膝関節といった下肢(脚)の関節の痛みや変形は、日常生活で最も基本となる「歩く」という動作に大きく影響します。また旅行などのレクリエーションも楽しめなくなりQOL (Quality of life, 生活の質)が著しく低下する原因ともなります。

主な股関節・膝関節の病気に変形性股関節症・変形性膝関節症・関節リウマチなどがあります。いずれも早期の段階では薬や注射などで痛みのコントロールが可能ですが、病気が進行してしまうと手術が必要になります。手術方法として代表的なものが人工関節置換術です。人工股関節置換

術・人工膝関節置換術は、合わせて日本全国で年間10数万件以上が行われており、めずらしい手術ではありませんが、設備やシステムの整った病院で安心して手術を受けたいという声が高まっています。



そこで貝塚病院では10月に、「人工関節センター」を開設し、高血圧・糖尿病などのかたも安心して手術を受けていただけるようにしました。

関節痛でお悩みの方、どんなことでも気軽にお問合せください。

人工関節センター長 大野充繁